

しものせき Port News

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

令和元年10月
Vol.12

Contents

下関港海岸

高潮対策事業

前田地区・浜浦地区の工事状況

山陽地区の工事状況

地元企業の声

海岸陸間操作訓練

インターンシップ生が学びに来ました
「リフレッシュ瀬戸内」

海岸清掃に参加しました

クルーズ船初寄港情報

令和元年8月撮影 下関港海岸の工事の状況
(前田地区一部完成)

令和元年8月撮影 下関港海岸の工事の状況 (ブリヂストン工区)

下関港湾事務所に関する主な出来事や話題をお届けします。

下関港海岸 高潮対策事業

下関港海岸は、平成11年台風18号による高潮被害を受けたため、平成20年から国の事業として、全長12.7kmにわたり高潮対策を行っています。

各地区の進捗状況について、紹介します。



対応

【長府・壇ノ浦地区】

- ・国道連携による越波防止対策
- ・眺望確保のための低天端構造と利用空間の創造

【山陽地区】

- ・護岸嵩上げによる越波、越流の防止対策
- ・水門、陸閘の設置等による背後住宅地への浸水防止対策

前田地区・浜浦地区の工事状況

前田地区は、既設護岸の前面に嵩上げ護岸を2018年から整備しており今年度の完成を目指し工事を進めています。周辺には飲食店や造船所、マンション等が立地しており、地域の方々にご協力を頂きながら工事を進めています。

また、浜浦地区においても、今年度から護岸嵩上げの工事に着手する予定です。



【前田地区の工事状況①】

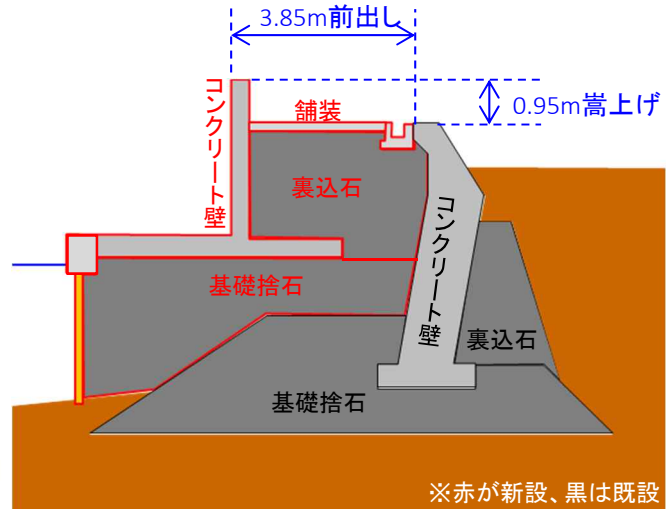


【前田地区の工事状況②】

山陽地区の工事状況

山陽地区は、地域の産業を支える企業が数多く立地している地域で、過去の高潮被害により企業や工場が休業や操業停止になるなど、地域経済に大きな打撃を受けました。本地区においても順次高潮対策事業を進めています。

平成27年度から、ブリヂストンが立地する護岸を高くする改良工事に着手し、隣接する新川においては、下関港海岸では、はじめてとなる水門の工事に今年度から着手しました。



【護岸の概略断面図(ブリヂストン工区)】

地元企業の声

事業者 (株)ブリヂストン下関工場(1970年6月操業開始)

事業所規模(面積) 264,000m²

生產品目 建設・鉱山用大型タイヤ

従業員数 667人

【多胡工場長のコメント】

本工場は、全国に3つある鉱山用大型タイヤの生産拠点の一つで世界各国へ製品を輸出しています。工場が高潮被害を受けた場合は、世界各国への供給が滞り、鉄鉱石などの資源採取へ大きく影響し、ひいては社会経済への影響も出てくると考えています。

本工場は平成11年の台風により高潮被害を受け、その教訓から自社でも対策を講じていますが、近年の気候変動を考えると限界があり、国の高潮対策事業への期待は大きく、完成した後は安心感を持って企業活動を行うことが出来ると思っています。



【多胡工場長(護岸沿いにて)】

海岸陸閘操作訓練

下関港海岸扇町工業団地には、高潮対策として陸閘を整備しました。陸閘とは、堤防の役割を果たす開閉可能な門扉で、普段は車両や人の通行、港湾の荷役のために開いていますが、台風等により高潮の発生する恐れがある場合には閉鎖し高潮を防ぐことができます。

令和元年6月17日、事務所職員で陸閘操作訓練を行いました。

訓練は台風期に備え、災害時の対応をスムーズに行うため、現地において実際に操作し、陸閘に問題が無いかなどの点検も併せて行いました。

最近では、台風8号・10号において高潮警報が発令され出動しました。



【陸閘の開閉手順を確認する職員】

インターンシップ生が学びに来ました

令和元年9月9日～13日の間、山口大学からインターンシップ生が当事務所の事業や仕事を学びに来所しました。

学生は、現場見学や現場での各種体験等を通じ、港湾や海岸整備の役割や重要性を学びました。

学生は、特に下関港の海岸事業に興味を持ち、「一口に護岸と言っても、各場所に適した護岸の構造が違い、デザインにも感心した。一つの構造物を完成させ維持管理するには幅広い知識や技術を必要とし、たくさんの方が関わっていることが分かった。」など、多くのことを学んでいるようでした。



【船上から海岸整備を学ぶ学生(左)】

「リフレッシュ瀬戸内」海岸清掃に参加しました

令和元年6月23日、下関市の長府浜浦町地先の海岸で「リフレッシュ瀬戸内」海岸清掃に当事務所からも参加しました。

本取組みは、瀬戸内海沿岸の107市町村・11府県・国土交通省9地方機関から成る「瀬戸内・海のネットワーク推進協議会」の環境事業の一環として、平成5年から実施されているものです。

当日は、38団体376人の参加者により、約2.5トンのゴミが集められました。



▲参加した職員

▼集められたゴミ



クルーズ船初寄港情報

(令和元年6月21日)

船名 エクスプローラー・ドリーム
船社 ドリームクルーズ社
総トン数 75,338トﾝ 全長 268m
総乗客定員 1,856名



(令和元年8月11日)

船名 コスタ・ベネチア
船社 コスタ・クルーズ社
総トン数 135,500トﾝ 全長324m
総乗客定員 5,260名



国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL (083) 266-3291 FAX (083) 261-1123
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
受付時間: 9:30~12:00と13:00~17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

